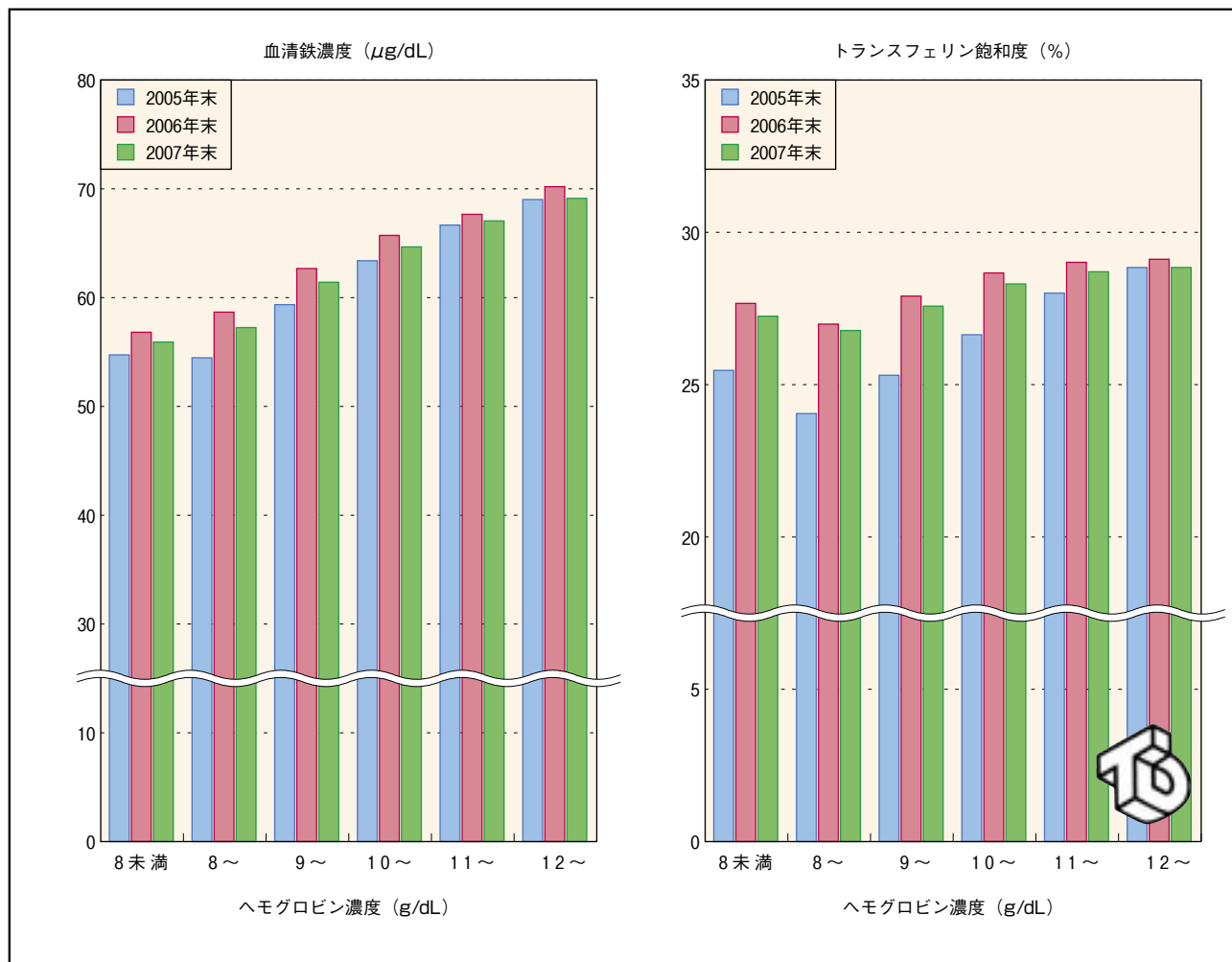


3) 腎性貧血治療の現状

(4) ヘモグロビン濃度と鉄代謝（血清鉄濃度・トランスフェリン飽和度）（図表33）



ヘモグロビン濃度 (g/dL)	8未満	8～	9～	10～	11～	12～	記載なし
2005年末血清鉄濃度 (μg/dL)	54.77	54.50	59.39	63.43	66.71	69.06	63.43
2006年末血清鉄濃度 (μg/dL)	56.85	58.70	62.71	65.76	67.70	70.24	64.05
2007年末血清鉄濃度 (μg/dL)	55.95	57.28	61.45	64.70	67.09	69.17	63.86

ヘモグロビン濃度 (g/dL)	8未満	8～	9～	10～	11～	12～	記載なし
2005年末トランスフェリン飽和度 (%)	25.48	24.06	25.32	26.65	28.02	28.86	27.74
2006年末トランスフェリン飽和度 (%)	27.68	27.00	27.92	28.68	29.03	29.13	27.16
2007年末トランスフェリン飽和度 (%)	27.26	26.79	27.59	28.32	28.72	28.86	26.90

患者調査による集計

解説

血清鉄濃度とトランスフェリン飽和度を、ヘモグロビン濃度ごとに2005年末・2006年末・2007年末の時点で比較した。2005年末・2006年末・2007年末のいずれの年においても、ヘモグロビン濃度の高い患者ほど血清鉄濃度が高かった。ヘモグロビン濃度8.0g/dL以上9.0g/dL未満の群を除けば、ヘモグロビン濃度の高い患者ほどトランスフェリン飽和度も高く、血清鉄濃度と同様の傾向があった。血清鉄濃度とトランスフェリン飽和度は、共にすべてのヘモグロビン濃度で2007年末の値が2006年末より低かったが、2005年末よりも高かった。